

**廃止措置研究・人材育成推進事業
中間評価総合所見**

<p>研究課題名：福島第一原子力発電所の燃料デブリ分析・廃炉技術に関わる研究・人材育成 研究代表者（研究機関名）：安濃田 良成（福井大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：大石 佑治（大阪大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：有馬 立身（九州大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：中島 健（京都大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：砂川 武義（福井工業大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：宮丸 広幸（大阪府立大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：峰原 英介→山岸 隆一郎 （若狭湾エネルギー研究開発センター） 再委託先研究責任者（研究機関名）：勝山 幸三（日本原子力研究開発機構） 研究期間：平成27年度～平成31年度（5年計画）</p>	
項目	要 約
1. 研究の概要	<p>福井大学が中心となり西日本の大学や研究機関が連携し、原子力機構、原子力損害賠償、廃炉等支援機構、技術研究組合国際廃炉研究開発機構、東京電力との情報交換を密にして、現場のニーズを踏まえた「廃止措置技術」、「燃料デブリ分析」及び「廃炉技術開発」に関する基盤研究及び人材育成を以下の通り行う。</p> <p>1) 廃止措置技術研究 2) 燃料デブリ分析コース 3) 廃炉技術開発コース</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>研究項目は計画通りの進捗が見られ、また人材育成項目は、学生の国際会議への参加、JAEA櫛葉遠隔技術開発センターの活用など、成果が期待される。</p> <p>今後、研究項目については、模擬試料からどう実試料に展開するかの検討や、事業主体からの情報の収集や連携等を積極的に行って欲しい。また、人材育成項目については、体系化と教育プログラムの定着等の発展に期待したい。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>